

令和5年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	ネット・動画クリエイター学科		2 年
科 目 名	ビジネスアプリケーション	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	中上 篤
時 間 数	前期：32時間 / 後期： 時間	実務経験：大手企業で、SEとしてシステム設計業務に従事した経験を活かし、実務に則した指導を行う。	
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	MacでのExcelを操作したことがない学生が大半であるため、基礎から操作解説を行っていく。実際にパソコンを使用して、確実に処理が行われているか確認しながら、検定3級合格レベルまで引き上げていく。		
目指す検定・資格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	テキストを单元ごとに進み、まず実際にExcel操作を確認させ、その後実習を行っていく。卒業後も就職先やプライベートでもExcelは必須であることを自覚させ、できるまで繰り返し操作をし、ひとつずつマスターしていく。		
そ の 他			
	前 期	後 期	
授 業 の 概 要	Excel表計算処理技能認定試験の3級レベルを目指す。Excelの基本的な操作（データ入力、罫線・グラフの作成、関数の利用、セルの参照、判定条件、検索関数）について学ぶ。		
到 達 目 標	表計算ソフトの基本機能と操作方法を習得する。関数を使った簡単な表を作成し、必要に応じて並べ替えやフィルターを設定できるようにする)		
成 績 評 価 方 法	前期試験 90%、出席席状況 5%、 授業態度 5%		
テ キ ス ト ・ 副 読 本	30 時間でマスター Office2013(実務教育出版株式会社)		

令和5年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	ネット・動画クリエイター学科		2年
科 目 名	CMS演習	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	松浦 登美子
時 間 数	前期： 時間 / 後期：32時間	実務経験： プログラマとして12年、Webディレクター兼サーバーエンジニアとして2年にわたり、企業サイトを手掛ける。	
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	WordPress の特徴や仕組みを理解し、「テーマ」を活用してカスタマイズできるスキルを身につける。		
目指す検定・資格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	実際に運用できるようセキュリティについても学ぶ。 WordPress の操作を確実に定着させるため復習も兼ねて「ギフト BOX 紹介ページ」の作成にチャレンジする。		
そ の 他			
	前 期	後 期	
授 業 の 概 要	WordPress の特徴や仕組みを理解し、実務でも応用できる基礎スキルを身につける。実際に運用するためのセキュリティやアクセス解析についても学ぶ。		
到 達 目 標	。	「テーマ」のカスタマイズができること。	
成 績 評 価 方 法	課題(65%)、期末試験(30%)、出欠席(5%)で評価する		
テ キ ス ト ・ 副 読 本	ゼロから学ぶはじめての WordPress (バージョン 65.x 対応)		

令和5年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	ネット・動画クリエイター学科			2年
科 目 名	動画制作実習応用	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目	
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	鈴置 勝信	
時 間 数	前期：114 時間 / 後期： 時間	実務経験： 平成元年より 3DCG 制作業務に従事。独立後に在阪 TV 局での番組映像制作の傍ら専門学校や大学にてマルチメディア系講義を行う。		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	現代のデザイン手法に欠かせない「動画・映像」の効果や仕組みについて学び、動画の制作実習を通して自身の表現手段を増やす。(文字、イラスト、写真 + 実写動画、3DCG 動画) 作品制作後にはプレゼンテーションを伴った合評会を行い、他者作品からの刺激を受け、自身の作品の制作力向上を実感する。			
目指す検定・資格	特になし			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	動画の特徴を理解し、案件に合わせた表現手法選択ができるようになること。			
そ の 他				
	前 期		後 期	
授 業 の 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 動画コンテンツの特徴と効能の理解 ・ 基本的な編集技術の習得 ・ 企画構成、演出の理解 			
到 達 目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 動画コンテンツの特徴を理解している ・ カットをつないでシーンを構成できる ・ 適切な編集ができる ・ 企画を映像化できる 			
成 績 評 価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 編集技術 (20%)、演出理解 (20%)、作品審査 (50%) 出欠席 (5%) 授業態度 (5%) で評価をつける。 			
テキスト・副読本				

令和5年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	ネット・動画クリエイター学科		2 年
科 目 名	企画プレゼンテーション	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	中上 篤
時 間 数	前期： 時間 / 後期：30 時間	実務経験：大手企業で、SEとしてシステム設計業務に従事した経験を活かし、実務に則した指導を行う。	
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	プレゼンテーションで、相手にどのように伝えるかの重要ポイントの解説。構成要素や資料の作り方、事前に準備すべきものと、プレゼン時のアドリブと気配り。		
目 指 す 検 定 ・ 資 格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	就職試験で自ら制作した作品のプレゼンテーションや、卒業研究発表時に活かすための技術やテクニックを指導。資料のまとめ方や、見やすく与えられた時間の中で目的を達成するために効果的なプレゼンの理解と活用。		
そ の 他			
	後 期		
授 業 の 概 要	プレゼンテーションを行う目的である「理解」「納得」「行動」この3つのステップで進め、「Who（誰が）」「What（何を）」「How（どのように）」の3つのポイントで展開。実際仕事で使用されている事例を基に解説後、各自でパワーポイントなど使用し、資料を制作。時間を決めてのプレゼンをクラス内で実施。ブラッシュアップし、ステップアップしていく。		
到 達 目 標	プレゼンテーションの流れや要点を理解し、就職活動時の作品プレゼンなどで内定に導くことができるレベル。		
成 績 評 価 方 法	期末試験（55%）、確認テスト（30%）出欠席（5%）授業態度（5%）、提出物（5%）で評価をつける。		
テ キ ス ト ・ 副 読 本			

令和5年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	ネット・動画クリエイター学科			2 年
科 目 名	グラフィックデザインⅡ	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目	
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	安藤 一生	
時 間 数	前期：36時間 / 後期： 時間	実務経験：グラフィックデザイナーとして12年間現場で、商品開発や特許出願開発に携わり、既製品としての商品開発から、顧客のニーズをヒアリングして制作する職務経験を活かす。		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	企業ロゴを制作し、名刺・封筒・チラシ制作の実習を通じて、グラフィックソフトに慣れ、郵便規約を学ぶ。			
目 指 す 検 定 ・ 資 格				
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	表面のデザインだけではなく、色数や数量によって変動する見積もりの味方や郵便規約に基づいたデザインを学び、企業実習で通用するレベルにもっていく			
そ の 他				
	前 期	後 期		
授 業 の 概 要	PCでリサーチ、ラフスケッチでアイデア出し、IllustratorやPhotoshopを使用し、制作。期日厳守で、課題提出日を区切り指導。			
到 達 目 標	就職試験に作品集の中に入れ、持参し説明できるレベルにする。			
成 績 評 価 方 法	制作物（90%）、授業態度（5%）、出欠席（5%）で評価をつける。			
テキスト・副読本				

令和5年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	ネット・動画クリエイター学科		2 年
科 目 名	Web アクセシビリティⅡ	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	澤田 望
時 間 数	前期：30 時間 / 後期： 時間	実務経験：岡山のデザイン事務所「SAWADA STANDARD」主宰。Web デザイナー、グラフィックデザイナーとして多くの案件を経てきた経験を伝え、Web デザイン世界のバリアフリーを説く。	
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	Web サイトの利用者（障害者を含む）／閲覧環境の多様性を理解し、より多くの利用者がアクセスできるサイトを制作するために必要な設計／実装／ビジュアルデザインの手法を修得する。		
目指す検定・資格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	Web サイトで情報公開する意味を考え、なぜアクセシビリティが必要なのかを実感できる体験型のワークショップを多く実施します。 JIS X 8341-3:2016 レベル AA を達成できる程度の制作知識を身に付ける。		
そ の 他			
	前 期	後 期	
授 業 の 概 要	ビジュアルデザイン 実装 システム設計 戦略／要件定義 アクセシビリティ検証		
到 達 目 標	アクセシブルなデザイン手法の修得 アクセシブルな実装手法の修得 テキスト Chapter2、3、6、8、9		
成 績 評 価 方 法	期末テスト（90%）、授業態度（5%）、出席（5%）で評価をつける。		
テ キ ス ト ・ 副 読 本	デザイン Web アクセシビリティ (太田良典、伊原力也著)		

令和5年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	ネット・動画クリエイター学科		2 年
科 目 名	HTML 制作演習Ⅱ	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 後期 ・ 通年	担 当 教 員	長野 紘貴
時 間 数	前期：32 時間 / 後期： 時間	実務経験： 個人事業主として5年間、ホームページ制作に関わる、コーディングや Web デザインなどの業務に従事した経験を活かし、HTML や CSS の基礎知識、CMS の管理・運用を活かせるように実習する。	
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	HTML を使用しての構造的なコーディング、CSS での装飾だけでなく、動的な Web サイト制作の実装とレスポンス対応の習得。		
目 指 す 検 定 ・ 資 格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	簡単で実践的な要素の習得から入り、Web サイト制作で活用したいと思える様に指導を行う。また、テキストだけの内容にとどまらず、実践的なスキル習得を行う。		
そ の 他			
	前 期	後 期	
授 業 の 概 要	HTML、CSS、jQuery それぞれがバランスをとり、Web サイトとして使いやすいものを目指す。PC 用のさいと制作だけでなく、スマートフォンやタブレット端末向けのサイト制作（レスポンス Web デザイン）の習得を目指す。		
到 達 目 標	HTML、CSS、jQuery を振り返りながらバランスの良いサイト制作の構築を目指す。各デバイスやブラウザに合ったコーディングができるように実習を行う。		
成 績 評 価 方 法	作品審査（90%）、出欠席（5%） 授業態度（5%）で評価する		
テ キ ス ト ・ 副 読 本	HTML & CSS と Web デザインが1冊できちんと身につく本		

令和5年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	ネット・動画クリエイター学科		2 年
科 目 名	Web デザイン実習応用	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	講師：藤原 先生
時 間 数	前期：30 時間 / 後期：38 時間	実務経験： グラフィックデザイナー、アートディレクターとして現場で約 20 数年間、数多くの案件に従事。キャリアコンサルタント資格を有する。	
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	1つのテーマに対してコンセプト設計からデザインを作成し、グループまたは個人でプレゼンテーションを行うことで、デザイナーやプログラマーの観点から、問題解決力を養うことを目的とする。		
目指す検定・資格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	基本グループワークを中心として実施。 クライアントを想定して、ヒアリングから行うことで、学生にデザイナーの役割を理解させる。また個人制作では感じる事ができない、協力の大切さやリーダーシップの難しさを理解できることを期待する。		
そ の 他			
	前 期	後 期	
授 業 の 概 要	仮想クライアントを想定し、ヒアリングから行うことで、問題点を洗い出す。そこからグループごとにコンセプト設計から問題を解決できるよう工夫しデザインを制作。プレゼンテーションを行う。	DTP の基礎知識、プレゼンテーションの資料作成のポイントの指導。そこから、プレゼンテーションのブラッシュアップを実施。	
到 達 目 標	デザイナーとしての役割し、問題解決力を身につける。プレゼンテーションを行う上で、伝える工夫の大切さを感じさせ、グループで協力して1つの物を作り上げる難しさを感じさせることが最終目標。	DTP の基礎知識の習得。そこから Web の分野だけでなく、DTP の分野からもメディアミックスの観点から提案を行えることが最終目標。	
成 績 評 価 方 法	制作物 (90%)、授業態度 (5%)、出欠席 (5%) で評価をつける。	制作物(90%)、授業態度(5%)、出欠席(5%)で評価をつける。	
テキスト・副読本			

令和5年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	ネット・動画クリエイター学科		2 年
科 目 名	Web マーケティング	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	講師：藤原 先生
時 間 数	前期：33時間 / 後期：35時間	実務経験： グラフィックデザイナー、アートディレクターとして現場で約20数年間、数多くの案件に従事。 キャリアコンサルタント資格を有する。	
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	市場との関係を構築するために必要なインターネットマーケティング全般の基本知識・方法論などの習得を目的とする。		
目 指 す 検 定 ・ 資 格	ネットマーケティング検定		
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	テキストを中心に進行。 Web に関する知識や技術、ネットマーケティングに関する知識、経営戦略と連動したWebブランディング能力を元に、自分のデザイン能力の向上に期待する。		
そ の 他			
	前 期	後 期	
授 業 の 概 要	インターネットを用いた、企画・集客（広告、PR）・販売・調達などの企業のインターネット対策全般について理論や知識を基礎から習得する。		
到 達 目 標	マーケティングの基礎知識からデザインやディレクションへの足掛かりとなるようにする。暗記だけに留まらないように実践を目的として行う。	Web デザイナーや Web プログラマーとして、Web の基礎的な知識はもちろんのこと、Web ディレクターとしてのファシリテート能力や、ブランディング知識の活用を最終目標とする。	
成 績 評 価 方 法	期末試験（90%）、出欠席（5%）授業態度（5%）で評価をつける。	期末試験（60%）、検定結果（30%）出欠席（5%）授業態度（5%）で評価をつける。	
テ キ ス ト ・ 副 読 本	ネットマーケティング検定公式テキスト インターネットマーケティング基礎編 第3版		

令和5年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	ネット・動画クリエイター学科		2 年
科 目 名	Web ディレクション	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	講師：藤原 先生
時 間 数	前期：64時間 / 後期：時間	実務経験： グラフィックデザイナー、アートディレクターとして現場で約20数年間、数多くの案件に従事。キャリアコンサルタント資格を有する。	
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	Web デザイナーや Web プログラマーの知識を元に、プロジェクトを監督・指揮・管理を行えるようスケジュールの進行管理、コンテンツの品質管理、プロジェクトメンバーの選定などを学ぶ。		
目 指 す 検 定 ・ 資 格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	仮想クライアントを想定し、一人ひとりの役割を明確にしながらチームを編成。テーマを元に自分の役割を意識しながら制作を行う。Web ディレクターとして必要なスキルを学生自身が体験から学ぶことを期待する。		
そ の 他			
	前 期	後 期	
授 業 の 概 要	Web ディレクターとはどういう仕事か解説。仮想クライアントを想定し、ヒアリングから行い、スケジュール管理から役割の指示、またコスト管理も意識しながらプレゼンテーションを行う。		
到 達 目 標	Web デザイナーや Web プログラマー、Web ディレクターとしてそれぞれの役割を明確に理解し、チームとして問題解決に取り組む力を得ることを最終目標とする。		
成 績 評 価 方 法	制作物 (90%) 出欠席 (5%) 授業態度 (5%) で評価をつける。		
テ キ ス ト ・ 副 読 本			

令和5年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	ネット・動画クリエイター学科		2 年
科 目 名	合同制作Ⅱ	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	中上 篤
時 間 数	前期： 時間 / 後期：30 時間	実務経験：大手企業で、SE としてシステム設計業務に従事した経験を活かし、実務に則した指導を行う。	
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	卒業研究前の時期に下級生とチームを編成して、これまで学習してきた内容をもとに、研究・成果物作成を行う。		
目指す検定・資格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	マーケティングや制作手法に則って、実際のクライアントからヒアリングをおこない、チームでの作品制作をおこなう。その為、制作力のみではなく、コミュニケーションの力を養い、実社会での作品制作に近い形で演習に望んでほしい。		
そ の 他			
	前 期	後 期	
授 業 の 概 要		実際のクライアントからヒアリングをおこない、チームでの作品制作をおこなう。 制作後はクライアントへのプレゼンテーションをおこなう。	
到 達 目 標		チームを率いる経験や、クライアントとの交渉など、コミュニケーション力の向上をはかる。	
成 績 評 価 方 法		成果物(90%)、出欠点(5%)、授業態度(5%)	
テキスト・副読本			

令和5年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	ネット・動画クリエイター学科		2年
科 目 名	エディトリアルデザイン	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	講師：藤岡 勝利
時 間 数	前期： 時間 / 後期：60 時間	実務経験：東京のデザイン会社で4年間、フリーランスで15年間イラストレーターの業務に従事した経験を活かし、基礎的な表現力を身につけさせ、デザインやイラストレーションに活かせるように実習する。	
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	クラス誌制作。カメラの授業で撮影した写真も使用し、学生に企画編集の体験をさせる。		
目 指 す 検 定 ・ 資 格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	取材・編者・撮影・コピーライティング等、役割分担しチームで制作する。 個人制作が多く、グループで意見を出し合いながら進行していくことで、コミュニケーションの向上に努められるように指導。		
そ の 他			
	後 期		
授 業 の 概 要	編集長、副編集長、進捗管理係をリーダーとして、クラス誌(冊子)のタイトル、ページ数、企画を全体で話し合い、企画ごとにチームリーダーをたて、進捗状況を確認しながら、校正、再校、校了日程に合わせて、全ページの確認をし、全体のイメージを統一させる。		
到 達 目 標	就職試験で、編集の仕事に就きたい学生が、出版社へ持参し説明できるレベル。		
成 績 評 価 方 法	ラフスケッチ (10%)、グループでの貢献度 (10%)、完成度 (30%)、規約・要件を満たしているか (40%)、出欠席 (5%)、授業態度 (5%) で評価をつける。		
テ キ ス ト ・ 副 読 本	<ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な分野の雑誌(1人1冊持参) ・ 過去の先輩の冊子(数年分) 		

令和5年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	ネット・動画クリエイター学科			2 年
科 目 名	卒業研究 I	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目	
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	中上 篤	
時 間 数	前期： 時間 / 後期：42 時間	実務経験：大手企業で、SE としてシステム設計業務に従事した経験を活かし、実務に則した指導を行う。		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	学科の集大成として、これまで学習してきた内容をもとに、研究・成果物作成を行う。			
目指す検定・資格				
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	サイト制作やプロダクト開発を行う際に、ニーズや市場調査など学生自身が先行き、成果物の運用や展開についても考えて発表する。			
そ の 他				
	前 期	後 期		
授 業 の 概 要		Web の知識や技術を活かして、企業・業界にどう貢献できるのか、設定したテーマについて資料をまとめ、実制作を行う。		
到 達 目 標		根拠を持った成果物を作成し、プレゼンテーションできる。		
成 績 評 価 方 法		提出物(90%)、出欠点(5%)、授業態度(5%)		
テ キ ス ト ・ 副 読 本				

令和5年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	ネット・動画クリエイター学科			2 年
科 目 名	卒業研究Ⅱ	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目	
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	中上 篤	
時 間 数	前期： 時間 / 後期：94 時間	実務経験：大手企業で、SE としてシステム設計業務に従事した経験を活かし、実務に則した指導を行う。		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	課題に対する資料、作品、プレゼンテーション作成 卒業研究発表会に向けて。グループまたは個人毎で研究を行い、成果を発表する			
目指す検定・資格				
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	テーマに基づいてニーズや市場調査から成果物の運用や展開についても考えて発表する。レベル向上のために、教員がチェックを行う。制作の集大成としてやり切るという意識を持つ。			
そ の 他				
	前 期	後 期		
授 業 の 概 要		卒業研究発表会に向けて、根拠や、プレゼンテーションの作成を行う。		
到 達 目 標		<ul style="list-style-type: none"> ・実制作物の展示発表 ・プレゼンテーションの実施 		
成 績 評 価 方 法		提出物(90%)、出欠点(5%)、授業態度(5%)		
テキスト・副読本				

令和 5 年度 シラバス

学科・学年	ネット・動画クリエイター学科		2 年
科目名	情報整理学	科目区分	一般科目 ・ 専門科目
開講期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担当教員	佐賀根 理沙
時間数	前期：32 時間 / 後期： 時間	実務経験：岡山のメーカーで約 7 年間、インハウスデザイナーとしてグラフィックデザインや商品開発、ブランディングに関わる。	
科目の目的と講義内容	情報を整理し視覚化・言語化し、新たな発想を生み出すための手法について学ぶ。これらはデザインを制作する上で、必要な知識習得と実践を経験し、情報収集や分析、企画、プレゼンと様々な場面での応用が可能である。		
目指す検定・資格	なし。		
指導方法及び学生に期待すること	情報を整理し視覚化・言語化するとともに、新たな発想ができるようになることを目指す。		
その他			
	後 期		
授業の概要	既存の広告物を参考に要素を分解、自分なりに必要な要素を整理してリデザインを行う。また、文字だけの情報からデザイン要素の優先順位を考え、デザインに起こしていく。完成した制作物について、文章やプレゼンで表現する力を身につける。		
到達目標	情報を整理し、視覚化・言語化し、新たな発想を生み出す。デザインを行う前の情報収集や分析、企画、プレゼンと様々な場面での応用が行える。		
成績評価方法	課題制作（80%）、出欠席（5%）、授業態度（15%）で評価をつける。		
テキスト・副読本	なし。		